

いちい

岐南中学校 学校だより

平成 27 年 10 月 9 日

岐南中学校教育目標

夢や希望の実現のために
自ら動く

前期、ありがとうございました。

前期が終了しました。671名の子どもたちと53名の職員でスタートした27年度ですが、子どもたちのがんばりや保護者の皆さん・地域の方の温かいご支援のおかげで、全員が少しずつ確実に成長しました。明日からは、短い秋休みですが、後期に向けて、自ら生活を作り、充実した5日間にしましょう。

◇「ふれあい講座はじまる」

9月より地域の方を講師に招いて、ふれあい講座が始まりました。講座には、美術・外国文化・スポーツ・将棋・制作活動・音楽関係など25講座があります。子どもたちは、自分の興味関心に応じて縦割り(1～3年の枠を超えて)で講座を選択し、活動しています。3回にわたる講座で、新しい自分の趣味や特技を見つけたり伸ばしたりしてくれることでしょう。講師の先生方の熱心なご指導に感謝しています。

◇「自ら動く」すばらしい自習の姿でした。

9月30日に1年4組の美術を全校の先生で参観する研究授業を行いました。そのため、1年4組以外の学級は、すべて自習でした。熱心に学習する姿が多く見られました。係の仲間が前に出て指示をしたり、互いに教え合ったりする学級もありました。「自ら動く」を学習で実現した姿でした。うれしいことです。



◇命を守る！シェイクアウト訓練を実施しました。

2008年にアメリカで始まった「決められた時刻に一斉に参加者全員が、机の下に隠れるなどの身の安全を図る行動を取る」新しい形の訓練です。「自分自身の安全は自分で守る」を身に付けること、災害があっても「ケガ」をしないことを基本に、身近な人を助けるなど地域防災力の強化を目的として行いました。

◇生徒会選挙、投票箱を使いました！

選挙権年齢が満20歳以上から、満18歳以上に引き下げられました。これを受け、後期生徒会選挙を通して、有権者の意識を育てたり、自分の考えをつくっていく力をさらに身に付けたりすることを願い、岐南町より投票箱を借用し、学年ごとに投票所を設定し、投票を行いました。



◇教育通信について

1年間で渡す教育通信は、前期分と後期分の2通です。

前期と後期とそれぞれ別の用紙で渡します。渡した教育通信は集めませんので、各家庭で保管してください。

教育通信を、後期の学習のために活用してください。そのためには、各教科の1～5の数字とともに記入してあるABCの評価を観てください。例を挙げます。

例えば、評定が3の場合、ABCの観点別評価は、教科によって次のような違いがあり得ます。

評定	観点 (国語以外は4つ)				評定3の意味
3	A	B	B	B	↑ 4に近い3 ↓ 2に近い3
	A	B	B	C	
	B	B	B	B	
	B	B	B	C	

仮にAを1点、Bを0点、Cを-1点として計算してみると、評定が3の中にもABCの合計点が1点、0点、-1点という3段階があることとなります。つまり、「評定4に近い3」なのか、「2に近い3」なのかということが、ABCの記号から読み取れ、後期に努力しなくてははいけない

ことをより明らかにすることができます。

また、評価はテストの結果だけで行うわけではありません。授業での発言や拳手の様子で、理解しているかどうかの判断もします。宿題や課題を出すことは、身に付けるために最低限必要な補充的な学習をさせたいという願いです。提出物を課すのは、授業のノートやワークから学習の取組をある程度の期間分、改めて評価したいからです。理解の仕方を観て指導に生かすことにも活用しています。

◇学校教育活動の評価について

後期スタート時にホームページにアップします。よろしくお願いいたします。